第３学年

Unit 1	**Virtual Safari Tour**	教科書ページ	pp. 8-17
		配当時間	9 時間
		学習時期	4 月
題材	バーチャルサファリツアー		
単元目標 【重点化領域】	◎記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。【読むこと（R-1）】 ◎記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。【話すこと（SP-3）】		
基本文	Part 1　English **is spoken** as an official language. Part 2　**Let** me **show** you something interesting. This footprint will **help** us **find** the elephant. Part 3　Ms. Thusi **told** us **(that)** you also do conservation.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉受け身の文、「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」、「tell＋人＋that＋文」の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	◎	○
	〈技能〉受け身の文、「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」、「tell＋人＋that＋文」などについての理解をもとに、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事の内容を読み取ったり、読んだり聞いたりした事実をもとに話したりする技能を身につけている。					
思考・断断・表現	質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取っている。		◎			
	絶滅のおそれのある動物のおかれた状況について理解を深めるために、記事から読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			
	絶滅のおそれのある動物のおかれた状況について理解を深めるために、記事から読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp. 8-9)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 10)	• English **is spoken** as an official language.	**本文の内容を捉え、文脈の中で受け身の文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、受け身の文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、受け身の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 11)		**目的や場面に沿って受け身の文を使う練習をする。** • 登場人物の南アフリカの名物についての説明から、それが手に入る場所など具体的な情報を聞き取る。 • ペアになり、自分が紹介したい地域の名物について説明する。 • 話したことをもとに、自分の地域の名物について書く。	○Listen の質問への回答の様子から、南アフリカの名物についての具体的な情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、受け身の文などを用いて、地域の名物について話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、地域の名物についての友達の説明を聞いた後、一言でもよいので感想を伝えるよう促すなど、Goal の「記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表する」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 12)	• **Let** me **show** you something interesting. • This footprint will **help** us **find** the elephant.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 13)		**目的や場面に沿って「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」を使う練習をする。** • 登場人物の会話を聞いて、それぞれの人物が誰にどんなことを手伝ってもらったかを聞き取る。 • ペアになり、友達や先生に手伝ってもらってうれしかったことを伝え合う。 • 友達や先生に手伝ってもらってうれしかったことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が誰にどんなことを手伝ってもらったかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」などを用いて、友達や先生に手伝ってもらってうれしかったことを話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 14)	• Ms. Thusi **told** us **(that)** you also do conservation.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「tell＋人＋that＋文」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「tell＋人＋that＋文」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「tell＋人＋that＋文」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 15)		**目的や場面に沿って「tell＋人＋that＋文」を使う練習をする。** • 登場人物の会話を聞いて、話題にした資料の順番などを捉えて書く。 • ペアになり、本 Unit での Ms. Thusi や Ms. Ota の発言の中で印象に残ったことを伝え合う。 • 本 Unit での Ms. Thusi や Ms. Ota の発言の中で印象に残ったことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、話題になった資料の順番を捉え、資料の空欄に入る数字を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「tell＋人＋that＋文」などを用いて、Ms. Thusi や Ms. Ota の発言の中で印象に残ったことを話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、Ms. Thusi や Ms. Ota が言ったこと（事実）だけでなく、それを知って感じたことなどを付け足して書くよう促すなど、Goal の「記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表する」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp. 16-17)		**記事から、質問の答えに必要な情報を読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • ジャイアントパンダの保護活動についての記事から、Tina や Ms. Thusi からの質問に答えるために必要な情報を読み取る。 • 記事中の、最新技術についての説明内容にふさわしいイラストを選ぶ。 • Q&A などを通して、記事の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 134（[英語をよりよく使うための TIPS] 内の『聞いたり読んだりするときのコツ』2. 必要な情報の聞き取り方［読み取り方］）も参考にしながら、必要な情報の読み取り方を振り返り、次回の活動に生かすようにする。**
9	Goal (p. 17)		**記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表する。** • 記事の中で、自分が感心したことや驚いたことに線を引き、それについての考えをメモする。 • 自分の考えをコメントし合い、伝え方を見直す。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「自分が感心したり驚いたりしたことが何か友達に伝わったか」、「事実と自分の考えを分けて話すことができたか」の観点で、自分が話す内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 1	計画を立てよう	教科書ページ	p. 18
		配当時間	1 時間
		学習時期	5 月
題材	週末の予定		
単元目標 【重点化領域】	◎音声を聞いて、質問された内容に答えることができる。 【聞くこと（L-1)】【話すこと（SI-1)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉be going to、曜日や時刻を表す語句、want to ～ など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解している。	◎		◎		
	〈技能〉be going to、曜日や時刻を表す語句、want to ～ など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きの理解をもとに、予定や希望を聞き取ったり、予定や希望に関する質問に答えたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	週末の計画を立てるために、週末の予定について必要な情報を聞き取っている。	◎				
	週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	週末の計画を立てるために、週末の予定について必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　〇形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 18		**音声を聞いて、質問された内容に答える。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 1.の音声を聞いて、予定表をもとに、Emma からの質問に答える。 • 2.の音声から、Emma との待ち合わせの時刻と場所を聞き取り、予定表に書く。 • 3.の音声を聞いて、文化祭の案内ポスターをもとに、Emma からの質問に答える。また、端末を使ってその音声を録音したりする。 • リスニングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、予定や希望の伝え方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」「話すこと（やり取り）」におけるそれぞれ 3 つの観点で評価する。**	

Unit 2	**Our School Trip**	教科書ページ	pp. 19-27
		配当時間	9 時間
		学習時期	5 月
題材	修学旅行		
単元目標 【重点化領域】	◎話し合いを聞いて、話し手の意見の要点を捉えることができる。【聞くこと（L-3）】 ◎聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。【話すこと（SI-3）】		
基本文	Part 1　We **have** finally **reached** Kiyomizu-dera Temple. Part 2　**Have** you **checked** your photos yet**?** — Yes, I **have**. / No, I **haven't**. The bus **hasn't left** yet. Part 3　**Have** you ever **seen** him like that**?** — Yes, I **have**. / No, **never**.[No, I **haven't**.] I**'ve** never **seen** such a beautiful sunset.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉現在完了形の〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	◎	○	○
	〈技能〉現在完了形の〈完了〉や〈経験〉の用法などについての理解をもとに、修学旅行で参加するコースについての話し合いの内容を聞き取ったり、聞いた話をまとめて自分の意見を伝えたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	話し合いをまとめるために、グループで参加するコースについての話し合いを聞き、話し手の意見の要点を捉えている。	◎				
	参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	話し合いをまとめるために、グループで参加するコースについての話し合いを聞き、話し手の意見の要点を捉えようとしている。	◎				
	グループで参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 19)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 20)	• We **have** finally **reached** Kiyomizu-dera Temple.	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈完了〉の用法の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在完了形〈完了〉の用法の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在完了形〈完了〉の用法について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 21)		**目的や場面に沿って現在完了形〈完了〉の用法を使う練習をする。** • 登場人物の電話での会話から、既にしたことを聞き取る。 • ペアになり、「ちょうどし終わったこと」「したいこと」をあらかじめ決め、電話で同意したり断ったりするやり取りを演じる。 • 自分と友達が演じたやり取りを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が既にしたことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在完了形の〈完了〉の用法などを用いて、「ちょうどし終わったこと」「したいこと」を話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 22)	• **Have** you **checked** your photos yet**?** — Yes, I **have**. / No, I **haven't**. • The bus **hasn't left** yet**.**	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形の疑問文や否定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在完了形の疑問文や否定文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在完了形の疑問文や否定文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 23)		**目的や場面に沿って現在完了形の疑問文や否定文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、既にしたことやまだしていないこと、この後することになりそうなことを聞き取る。 • ペアになり、今日既にしたかどうかをたずね合う。 • 友達が今日既にしたことと、まだしていないことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が既にしたことやまだしていないことなどを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在完了形の疑問文や否定文などを用いて、今日既にした／まだしていないことを話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 24)	• **Have** you ever **seen** him like that**?** — Yes, I **have**. / No, **never**. [No, I **haven't**.] • **I've** never **seen** such a beautiful sunset.	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在完了形〈経験〉の用法の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在完了形〈経験〉の用法について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 25)		**目的や場面に沿って現在完了形〈経験〉の用法を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、行ったことがある場所や、次の連休に行きたいところとその理由を聞き取る。 • ペアになり、自分が行ってみたい場所を 1 つ決め、その場所に行ったことがあるかどうかなどを友達にたずね、さらにその答えに応じて話を続ける。 • 自分が行ってみたい場所に友達が行ったことがあるかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が行ったことがある場所や、次の連休に行きたいところとその理由を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在完了形〈経験〉の用法などを用いて、自分が行ってみたい場所について話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、行ってみたい場所の理由をどんな言い方で言っていたかを確認するなど、Goal の「話し合いを聞いて、話し手の意見の要点を捉える」活動につながる指導を行う。** **★話す活動の際、行ってみたい場所の理由を伝えるときに、人の発言を引用する言い方を確認するなど、Goal の「聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりする」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp. 26-27)		**話し合いを聞いて、話し手の意見の要点を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 参加するコースについての話し合いをメモしながら聞き、話し手の意見を捉える。 • メモを見直し、話し手の要点を捉えるための聞き方を意識して、もう一度聞く。 • Q&A などを通して、会話の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★中間振り返りの際、紙面上の TIP に注目したり、「どのような場所に行きたいと言っていたか」、「そのコースで何ができることを、理由にしていたか」の観点で、メモの内容や表現を見直したりするよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**
9	Goal (p. 27)		**聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりする。** • 聞いた話の内容をふまえて、参加するコースについての意見を伝え合う。 • 学習状況に応じて、Extra の話し合いの続きを聞き、みんなで参加することになりそうなコースを選ぶ活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★Listen での登場人物の発話を参考にさせるとよい。**

Daily Life 2	**留守番電話**	教科書ページ	p. 28
		配当時間	1 時間
		学習時期	5 月
題材	留守番電話、週末の予定		
単元目標 【重点化領域】	◎留守番電話を聞いて用件を把握し、返答をすることができる。 【聞くこと（L-1)】【書くこと（W-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉不定詞の副詞的用法、Could you ～? など依頼を表す表現や語句、接続詞 if、交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解している。	◎				◎
	〈技能〉不定詞の副詞的用法、Could you ～? など依頼を表す表現や語句、交通手段や場所や持ち物に関する語句などの意味や働きの理解をもとに、留守電の用件や待ち合わせに関する情報、依頼の内容などを聞き取ったり、依頼の返事を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	伝言の内容を確かめて対応するために、留守番電話から、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	伝言の内容を確かめて対応するために、留守番電話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 28		**留守番電話を聞いて用件を把握し、返答をする。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 留守番電話の伝言を聞いておおまかな内容を捉え、1. に示された選択肢から用件に合うものを選ぶ。 • 留守番電話の伝言を再度聞いて、2. のメモに情報をまとめる。 • 伝言の中でたずねられていることについての返答を伝えるメッセージを 3. の文を補足して書く。 • リスニングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、留守番電話を聞いて用件や必要な情報を捉えるための聞き方やそれに対する返答の伝え方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」「書くこと」におけるそれぞれ 3 つの観点で評価する。**	

Unit 3	**Lessons From Hiroshima**	教科書ページ	pp. 29-37
		配当時間	9 時間
		学習時期	6 月
題材	平和学習		
単元目標 【重点化領域】	◎ある人物の手記を読み、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2）】 ◎読んだ手記の感想や考えをレポートに書くことができる。【書くこと（W-3）】		
基本文	Part 1 The dome **has been** like this for about 80 years. **How long have** you **been** a volunteer**?** — **I've been** a volunteer since 2000. Part 2 **I've been** think**ing** about our trip to Hiroshima. Part 3 We learned **how to work** for world peace from her. She showed us **how to work** for world peace. Our teacher told us **what to see** in Hiroshima.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」などについての理解をもとに、手記の内容を読み取ったり、学んだことや感想や考えを書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	平和のためにできることを考えるきっかけにするために、手記を読み、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	平和のためにできることを考えるきっかけにするために、読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	平和のためにできることを考えるきっかけにするために、手記を読み、おおまかな内容を捉えてようとしている。		◎			
	平和のためにできることを考えるきっかけにするために、読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 29)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 30)	• The dome **has been** like this for about 80 years. • **How long have** you **been** a volunteer**?** — **I've been** a volunteer since 2000.	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈継続〉の用法の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在完了形〈継続〉の用法の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在完了形〈継続〉の用法について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 31)		**目的や場面に沿って現在完了形〈継続〉の用法を使う練習をする。** • 外国の人たちへのインタビューから、日本での滞在期間などの情報を聞き取る。 • ペアになり、好きな歌手や俳優／幼少期の友達について、どのくらいの期間ファン／友達なのかなどをたずね合う。 • やり取りで知った友達の情報を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、外国の人たちの日本での滞在期間などの情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在完了形〈継続〉の用法などを用いて、好きな歌手や俳優／幼少期の友達についてどのくらいの期間ファン／友達なのかなどを話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 32)	• **I've been** think**ing** about our trip to Hiroshima.	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了進行形の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在完了進行形の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在完了進行形について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 33)		**目的や場面に沿って現在完了進行形を使う練習をする。** • 登場人物の電話でのやり取りから、ずっとしていることなどを聞き取る。 • ペアになり、ずっとしていることとその時間をあらかじめ決めて、それについてたずね合う電話でのやり取りを演じる。 • 自分と友達が演じたやり取りを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がし続けていることなどを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在完了進行形などを用いて、ずっとしていることとその時間を話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 34)	• We learned **how to work** for world peace from her. • She showed us **how to work** for world peace. • Our teacher told us **what to see** in Hiroshima.	**本文の内容を捉え、文脈の中で「疑問詞＋to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「疑問詞＋to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「疑問詞＋to＋動詞の原形」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、レポートの段落構成を意識して聞き／読み、おおまかな内容を捉えてみるよう促すなど、Goal の「ある人物の手記を読み、おおまかな内容を捉える」活動につなげる。**
7	Part 3 活動 (p. 35)		**目的や場面に沿って「疑問詞＋to＋動詞の原形」を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、修学旅行を通して知ったことやこれから知りたいことを捉える。 • ペアになり、中学生になってからやり方を知ったことや教えてもらったことを伝え合う。 • 自分が中学生になってからやり方を知ったことや教えてもらったことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が修学旅行を通して知ったことやこれから知りたいことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「疑問詞＋to＋動詞の原形」などを用いて、中学生になってからやり方を知ったことや教えてもらったことを話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、話したことをもとに、新しく知って［教えてもらって］感じたことやさらに知りたいことなどを付け足して書くよう促すなど、Goal の「読んだ手記の感想や考えをレポートに書く」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp. 36-37)		**ある人物の手記を読み、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 西村宏子さんの手記を読み、各段落にふさわしい見出しを選び、また示された２つのことに当てはまる文に線を引く。 • Q&A などを通して、手記の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 135（［英語をよりよく使うための TIPS］内の『話したり書いたりするときのコツ』7. わかりやすい意見の伝え方）も参考にしながら、わかりやすい意見の伝え方を振り返り、次回の活動に生かすようにする。**
9	Goal (p. 37)		**読んだ手記の感想や考えをレポートに書く。** • 読んだ手記や本 Unit を通して学んだことと、それについて感じたことや考えたことを整理しながら、レポートに書く内容を考える。 • レポートを書き、伝える内容や組み立てを見直す。 • 書き直したレポートを読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「西村さんの話や手記から学んだことをもとに、書かれているか」、「読んだ人は、書き手が学んだことと書き手自身の考えを区別できるか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 1	現在完了形／現在完了進行形	教科書ページ	pp. 38-39
		配当時間	2 時間
		学習時期	6 月
題材	過去とつながりのある現在の状態を伝える言い方		
単元目標	現在完了形や現在完了進行形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉現在完了形や現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉現在完了形や現在完了進行形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 38-39	• 現在完了形（〈完了〉〈経験〉〈継続〉の用法） • 現在完了進行形【復習】	**現在完了形〈完了〉〈経験〉の用法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 2 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • 現在完了形の〈完了〉〈経験〉の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。また、〈完了〉〈経験〉のそれぞれの用法で、よく使う語があることを理解する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • やり取りなどの活動を通して、現在完了形〈完了〉〈経験〉の用法を使う練習をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、現在完了形〈完了〉〈経験〉の使用場面と意味を理解することができているかを見取る。	
2			**現在完了形〈継続〉の用法や現在完了進行形の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 3 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • 現在完了形〈継続〉と現在完了進行形の肯定文・疑問文の形を整理する。また、現在完了形〈継続〉の用法と現在完了進行形のそれぞれで、よく使う語があることを理解する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • やり取りなどの活動を通して、現在完了形〈継続〉と現在完了進行形を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、現在完了形〈継続〉や現在完了進行形の使用場面と意味を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で現在完了形〈継続〉や現在完了進行形の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Let's Read 1	**Visas for 6,000 Lives**	教科書ページ	pp. 40-43
		配当時間	4 時間
		学習時期	7 月
題材	戦争と生き方		
単元目標 【重点化領域】	◎伝記を読み、その人物の功績をおおまかに捉えて、その内容を自分の言葉で説明することができる。【読むこと（R-2)】【話すこと（SP-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解している。	○	◎		◎	
	〈技能〉時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きの理解をもとに、杉原千畝の伝記の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	杉原千畝の功績を知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	杉原千畝について ALT に知ってもらうために、読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	杉原千畝の功績を知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	杉原千畝について ALT に知ってもらうために、読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 40-43		**知っていることやタイトルをもとに、伝記の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 当時のユダヤ人やビザについて知っていることやタイトルをもとに、杉原千畝が何をした人物かを考え、本文の内容を予想する（Before You Read)。 **伝記全体を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。** • 本文全体を通して聞き、話の概要をイメージする。 • 本文全体を通して読み、話の流れや概要を捉える。	○Before You Read への回答の様子から、伝記の内容をどのように予想しているかを見取る。 ○生徒の発話などから、伝記のおおまかな内容を捉えているかを見取る。	
2	pp. 40-41		**ユダヤ人の置かれた状況や杉原千畝の決断を読み取る。** • pp. 40-41 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、ユダヤ人の置かれた状況や杉原千畝の決断を読み取る。 • pp. 40-41 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、伝記のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
3	pp. 42-43		**杉原千畝がビザを書き始めてからカウナスを離れるまでと、日本に帰国後の出来事の詳細を読み取る。** • pp. 42-43 内 10 行目の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめながら、杉原千畝がビザを書き始めてからカウナスを離れるまでと、日本に帰国後の出来事を読み取る。 • pp. 42-43 内 10 行目の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、伝記のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
4	p. 43		**杉原千畝の行動を時系列に整理しながらおおまかな内容を確かめ、杉原千畝の思いを読み取る。** • 図に適する語を入れて杉原千畝の行動を時系列に整理し、本文のおおまかな内容を確かめる（After You Read, Read 1.)。 • 杉原千畝の思いが伝わる文に線を引き、杉原千畝の決断の理由を考える（After You Read, Read 2.)。 **伝記のおおまかな内容を自分の言葉で説明する。** • 図に整理したことを参考に、本文のおおまかな内容を ALT に自分の言葉で説明する（After You Read, Speak)。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」「話すこと（発表)」におけるそれぞれ 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★TIP（p. 43)、巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 135（[英語をよりよく使うための TIPS]『聞いたり読んだりするときのコツ』4. おおまかな内容を捉える読み方）も参考にしながら、おおまかな内容を捉える読み方を確認する。**

You Can Do It! 1	学校生活について意見をまとめよう	教科書ページ	pp. 44-45
		配当時間	2 時間
		学習時期	7 月
題材	学校生活		
単元目標 【重点化領域】	◎話し合いの中で意見をまとめることができる。【読むこと（R-2）】【話すこと（SI-3）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。		◎	◎		
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校生活についての意見文の内容を読み取ったり話し合ったりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文を読み、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 44-45		**海外の中学生の意見文を読んでおおまかな内容を捉え、自分の考えを書き込む。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 2 人の中学生の意見文を読んでおおまかな内容を確かめた後、それぞれの提案に対する自分の賛成・反対を選び、また 2 人の意見の理由となりそうな部分に線を引く。 • 2 人の中学生の意見文の詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p. 45		**議題を選んで話し合い、グループとしての意見をまとめる。** • 2 人の中学生の提案のうち、どちらを話し合いの議題にするかを決める。 • 議題に対する自分の意見とその理由をメモするなど、話し合いに向けた準備をする。 • グループになり、賛成派と反対派に分かれて意見を伝え合う。話し合いの前後で、賛成派と反対派の人数を数え、意見が変わった人がいたかどうかを確かめる。 • グループとしての意見を 1 つにまとめて、全体に向けて発表する。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Speaking モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

World Tour 1	**Speak Up!**	教科書ページ	p. 46
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	7 月
題材	世界を変える若者たち		
単元目標	人物を紹介する紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、世界を変える若者たちを紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。	○				
思考・判断・表現	世界を変える若者たちについて知るために、紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
主体的に学習に取り組む態度	世界を変える若者たちについて知るために、紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 46		**世界を変える若者たちを紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 紹介動画から、それぞれの人の年表の空欄に当てはまる数字や語句を聞き取る。 • 全体で動画と年表の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○ワークシート等から、人物の活動についてのおおまかな内容を捉えているかを見取る。	

Unit 4	**AI Technology and Language**	教科書ページ	pp. 47-55
		配当時間	9 時間
		学習時期	9 月
題材	科学技術と外国語学習		
単元目標 【重点化領域】	◎投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えることができる。【読むこと（R-3）】 ◎読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書くことができる。【書くこと（W-3）】		
基本文	Part 1　Smartphones **which** respond to voice commands are common these days. Part 2　I have an uncle **who** runs a Japanese restaurant. Part 3　Learning a language is a valuable experience **that** will help us broaden our world view.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉関係代名詞 which, who, that が主語となる文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉関係代名詞 which, who, that が主語となる文などについての理解をもとに、AI の技術と外国語学習について、投稿文の内容を読み取ったり、自分の意見を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	外国語を学ぶことの意義について考えるために、4 人の投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えている。		◎			
	外国語を学ぶことの意義について考えるために、読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	外国語を学ぶことの意義について考えるために、4 人の投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えようとしている。		◎			
	外国語を学ぶことの意義について考えるために、読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 47)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 48)	• Smartphones **which** respond to voice commands are common these days.	**本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞 which が主語となる文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、関係代名詞 which が主語となる文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、関係代名詞 which が主語となる文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 49)		**目的や場面に沿って関係代名詞 which が主語となる文を使う練習をする。** • ラジオのコマーシャルを聞いて、説明されている製品やサービスを捉える。 • ペアになり、4 つの製品やサービスのうち、欲しいものや興味のあるものを伝え合う。 • 話したことをもとに、自分と友達が欲しいものを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、説明されている製品やサービスを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、関係代名詞 which が主語となる文などを用いて、4 つの製品やサービスのうち、欲しいものや興味のあるものについて話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 50)	• I have an uncle **who** runs a Japanese restaurant.	**本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞 who が主語となる文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、関係代名詞 who が主語となる文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、関係代名詞 who が主語となる文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、「要点」（Kota と Hajin がいちばん言いたいこと）が何かを考えながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉える」活動につなげる。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 51)		**目的や場面に沿って関係代名詞 who が主語となる文を使う練習をする。** • 展示会での製品の説明を聞いて、説明されているのがどの製品かを捉える。 • ペアになり、AI の技術がどんな人の役に立つと思うかについて、考えを伝え合う。 • AI の技術がどんな人の役に立つと思うかについて、考えを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、説明されているのがどのような製品かを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、関係代名詞 who が主語となる文などを用いて、AI の技術がどんな人の役に立つと思うかについて話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、聞いたことなどをもとに AI の技術がどんな人の役に立つかを考えさせるなど、Goal の「読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書く」活動につながる指導を行う。**
6	Part 3 本文 (p. 52)	• Learning a language is a valuable experience **that** will help us broaden our world view.	**本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞 that が主語となる文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、関係代名詞 that が主語となる文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、関係代名詞 that が主語となる文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、再度 Part 1, 2 の本文も振り返りながら、agree with 〜. や I think 〜 is right. など意見への賛成を表す表現、so や on the other hand などのつなぎ言葉を確認するなど、Goal の「投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉える」活動につながる指導を行う。**
7	Part 3 活動 (p. 53)		**目的や場面に沿って関係代名詞 that が主語となる文を使う練習をする。** • 登場人物の二択ゲームをしている場面の会話から、登場人物の選択や意見を聞き取る。 • ペアになり、Listen で聞いた選択肢を題材にして、二択ゲームを行う。 • 二択ゲームの選択肢のうち一方を選び、それに関しての意見を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の選択や意見を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、関係代名詞 that が主語となる文などを用いて、聞いたことを題材にして、二択ゲームのやり取りをしている／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、理由や具体例を意見に付け足して説得力のある意見を書く練習をさせるなど、Goal の「読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書く」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp. 54-55)		**投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 4 人の投稿文を読み、外国語を学ぶことに対する意見の違いを表に整理し、各投稿者の意見の理由を表している文に線を引く。 • Q&A などを通して、投稿文の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 55)		**読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書く。** • p. 48 の本文や、それに対する p. 54 の投稿文の内容をもとに、外国語を学ぶことについての自分の意見とその理由をメモに整理する。 • 自分の意見を伝える文章を書き、伝える内容や組み立てを見直す。 • 書き直した文章を読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「意見の要点が明確に伝わるか」、「意見の理由が詳しく書けているか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Let's Read 2	**Living with Robots**	教科書ページ	pp. 56-59
		配当時間	4 時間
		学習時期	9（〜10）月
題材	ロボット		
単元目標 【重点化領域】	◎説明文を読んで要点を捉え、自分の考えを書いて紹介することができる。【読むこと（R-3)】【書くこと（W-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」、関係代名詞 which, who, that が主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きを理解している。	○	◎			◎
	〈技能〉「let [help]＋人・もの＋動詞の原形」、関係代名詞 which, who, that が主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きの理解をもとに、ロボットについての説明文の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	新しい技術やロボットと人間との関係について考えるために、説明文を読み、要点を捉えている。		◎			
	新しい技術やロボットと人間との関係について考えるために、どのような場所でどのような役に立っているかなどの情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	新しい技術やロボットと人間との関係について考えるために、説明文を読み、要点を捉えようとしている。		◎			
	新しい技術やロボットと人間との関係について考えるために、どのような場所でどのような役に立っているかなどの情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 56-59		**ロボットについて知っていることをもとに、説明文の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • ロボットについて知っていることを話し合い、本文の内容を予想する（Before You Read)。 **説明文全体を通して聞いたり読んだり、おおまかな内容を捉える。** • 本文全体を通して聞き、説明文の概要をイメージする。 • 本文全体を通して読み、概要や構成を捉える。 • 第 1 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、本文の話題を読み取る。 • 第 1 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Before You Read への回答の様子から、ロボットについて知っていることを話し合い、記事の内容を予想しているかを見取る。 ○生徒の発話などから、説明文のおおまかな内容を捉えているかを見取る。	
2	pp. 56-57		**HAL や OriHime と人間との関係を読み取る。** • 第 2〜4 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、本文の話題を読み取る。 • 第 2〜4 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、説明文のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
3	pp. 58-59		**ごみ箱ロボットと人間との関係、筆者の考えを読み取る。** • 第 5〜7 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、本文の話題を読み取る。 • 第 5〜7 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、説明文のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
4	p. 59		**説明文の要点を確かめる。** • 会話文に適する語句を入れて本文の要点を確かめたり、説明文に出てきた 3 種のロボットの特徴を整理したりする（After You Read、Read)。 **おすすめのロボットを紹介する記事を書く。** • 自分の身の回りで役に立っている、おすすめのロボットを紹介する記事を書く（After You Read、Write)。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」「書くこと」におけるそれぞれ 3 つの観点で評価する。**	**★TIP (p. 58)、巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 135（[英語をよりよく使うための TIPS]『聞いたり読んだりするときのコツ』5. 要点を捉える聞き方［読み方］）も参考にしながら、要点を捉える読み方を確認する。**

Daily Life 3	レシピ	教科書 ページ	p. 60
		配当時間	1 時間
		学習時期	10 月
題材	レシピ		
単元目標 【重点化領域】	◎レシピから、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと（R-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解している。		◎			
	〈技能〉調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きの理解をもとに、ハロウィンの伝統菓子について書かれたレシピを読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	ハロウィンの伝統菓子の調理のしかたを知るために、レシピから、必要な情報を読み取っている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	ハロウィンの伝統菓子の調理のしかたを知るために、レシピから、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 60		**レシピから、必要な情報を読み取る。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • レシピを読み、おおまかな内容を捉える。 • 1. に示された工程のイラストを、レシピの手順に合うように並べ替える。 • 2. に示された道具のイラストのうち、調理に必要なものをレシピから読み取り、選ぶ。 • リーディングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、必要な情報の読み取り方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	

Unit 5	**My Dreams for the Future**	教科書ページ	pp. 61-69
		配当時間	9 時間
		学習時期	10〜11 月
題材	将来の夢		
単元目標 【重点化領域】	◎プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉えることができる。【読むこと（R-2)】 ◎調べたことや自分の考えを、順序立てて発表することができる。【話すこと（SP-2)】		
基本文	Part 1　Look at this picture **(which)** I found on the internet. Part 2　The presentation **(that)** you gave was great! Part 3　Being a puppy walker was another great experience **I had**.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉関係代名詞 which, that が目的語になる文や、文による後置修飾の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	◎	○
	〈技能〉関係代名詞 which, that が目的語になる文や、文による後置修飾などについての理解をもとに、世界が抱える課題について書かれたプレゼンテーション原稿の内容を読み取ったり、調べたことや考えを話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	世界が抱える課題についてクラスメイトに知らせるために、調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	世界が抱える課題についてクラスメイトに知らせるために、調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 61)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、概要を聞き取っているか見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 62)	• Look at this picture **(which)** I found on the internet.	**本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞 which が目的語になる文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、関係代名詞 which が目的語になる文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、関係代名詞 which が目的語になる文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、資料を指し示す言葉や、話の流れを表すつなぎ言葉を確認するなど、Goal の「プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉える」活動につなげる。**
3	Part 1 活動 (p. 63)		**目的や場面に沿って関係代名詞 which が目的語になる文を使う練習をする。** • 韓国の文化についてのプレゼンテーションを聞き、４枚の韓国文化特有のものの写真のうちのどの写真のものについての説明かを捉える。 • ペアになり、外国の人に日本の文化を紹介するつもりで、3 枚の日本文化特有のものの写真のうちのどれか 1 枚の写真のものについて説明する。 • 3 つの写真のものから 1 つを選び、それを紹介する文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、韓国の文化の何についての説明かを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、関係代名詞 which が目的語になる文などを用いて、写真で示された日本文化に関するものを説明している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 64)	• The presentation **(that)** you gave was great!	**本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞 that が目的語になる文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、関係代名詞 that が目的語になる文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、関係代名詞 that が目的語になる文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 65)		**目的や場面に沿って関係代名詞 that が目的語になる文を使う練習をする。** • 登場人物の話から、それぞれが影響を受けた作品を聞き取る。 • ペアになり、おすすめの本や映画を、写真を見せながら紹介する。 • 話したことをもとに、自分が紹介した作品についての説明を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物それぞれが影響を受けた作品を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、関係代名詞 that が目的語になる文などを用いて、おすすめの作品を、写真を見せながら話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 66)	• Being a puppy walker was another great experience **I had.**	**本文の内容を捉え、文脈の中で文による後置修飾の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、文による後置修飾の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、文による後置修飾について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 67)		**目的や場面に沿って文による後置修飾を使う練習をする。** • 登場人物の会話を聞いて、高校生になったら挑戦したいことを聞き取る。 • ペアになり、近い将来挑戦したいことについてたずね合う。 • 自分と友達がしたやり取りを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が高校生になったら挑戦したいことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、文による後置修飾などを用いて、近い将来挑戦したいことについて話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、理由や具体例など、情報を整理して話す練習をさせるなど、Goal の「調べたことや自分の考えを、順序立てて発表する」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp. 68-69)		**プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉える。** • ばらばらになった原稿を読み、内容のつながりを考えて、正しい順番に並べ替える。 • 原稿中の Eri が調べた資料についての説明を読み、説明に合うグラフを選ぶ。 • Q&A などを通して、原稿の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 69)		**調べたことや自分の考えを、順序立てて発表する。** • 教科書やインターネットを使って、世界にはどのような課題があるかを調べる。 • 調べたことと、それに対する自分の考えをメモに整理し、伝える順番を考える。 • メモをもとに調べたことを発表し、伝える内容や組み立てを見直す。 • 学習状況に応じて、Extra の Speak で発表した課題を解決するために、自分ができることや、今後挑戦したいことを考えて、プレゼンテーションをする活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「話の最初で、話題がわかるようになっているか」、「話題の具体的な内容を、順序よく説明できているか」の観点で、自分が発表する内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 4	**講演**	教科書ページ	p. 70
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	環境問題		
単元目標 【重点化領域】	◎講演を聞いて、おおまかな内容を捉え、感想を書くことができる。【聞くこと（L-2）】 【書くこと（W-3）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きを理解している。	◎				◎
	〈技能〉環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きの理解をもとに、海洋プラスチックごみの問題への取り組みについての講演の内容を聞き取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	講演の話題や話し手の伝えたいことを知るために、講演を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	◎				
	ゲストに講演の感想や質問を伝えるために、聞いたことをもとに、メッセージを書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	講演の話題や話し手の伝えたいことを知るために、講演を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				
	ゲストに講演の感想や質問を伝えるために、聞いたことをもとに、メッセージを書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 70		**講演を聞いて、おおまかな内容を捉え、感想を書く。** • 単元の目標と、活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 講演を聞いておおまかな内容を捉え、1. に示されたタイトルから講演の内容に合うものを選ぶ。 • 講演を再度聞いて、2. に示されたスライドの講演で提示された順番を答える。 • 講演の内容についての感想や、ゲストへの質問をメッセージに書く。 • 学習状況に応じて、Extra の講演の原稿を読み、詳しい内容を確かめる活動に取り組む。 • リスニングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、おおまかな内容の聞き方、聞いた話を引用して書くときのコツなどを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」「書くこと」におけるそれぞれ 3 つの観点で評価する。**	

Unit 6	**The Chorus Contest**	教科書ページ	pp. 71-79
		配当時間	9 時間
		学習時期	11（〜12）月
題材	合唱コンクール		
単元目標 【重点化領域】	◎おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。 【聞くこと（L-2）】 ◎おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合うことができる。 【話すこと（SI-2）】		
基本文	Part 1　There are two people **playing one piano**. Part 2　They're wearing T-shirts **designed by Tina**. Part 3　Tell us **why you're leaving**. 　　Do you know **when you're leaving**?		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	◎	○	○
	〈技能〉動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文などについての理解をもとに、登場人物のおすすめの作品を聞き取ったり、自分のおすすめの作品について話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	◎				
	友達に作品をすすめるために、自分のおすすめの作品について伝えたい情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				
	友達に作品をすすめるために、自分のおすすめの作品について伝えたい情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 71)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 72)	• There are two people **playing one piano**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の-ing 形による後置修飾の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、動詞の-ing 形による後置修飾の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、動詞の-ing 形による後置修飾について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、説明されているビデオの内容を絵で思い浮かべるなど、Goal の「おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉える」活動につながる指導を行う。**
3	Part 1 活動 (p. 73)		**目的や場面に沿って動詞の-ing 形による後置修飾を使う練習をする。** • Eri のお気に入りの動画についての登場人物の会話から、動画の中で注目した人物を聞き取る。 • ペアになり、お気に入りの動画や写真を示し、出てくる人やものなどについて詳しく説明を加えながら紹介する。 • お気に入りの動画や写真に出てくる人やものについて詳しく書く。	○Listen の質問への回答の様子から、動画の中で Kota たちが注目した人物を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、動詞の-ing 形による後置修飾などを用いて、お気に入りの動画や写真を示し、その中に出てくる人やものなどについて詳しく説明を加えながら話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 74)	• They're wearing T-shirts **designed by Tina**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で過去分詞による後置修飾の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、過去分詞による後置修飾の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、過去分詞による後置修飾について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 75)		**目的や場面に沿って過去分詞による後置修飾を使う練習をする。** • 登場人物のポップカルチャーのイベントでの作品の説明から、具体的な情報を聞き取る。 • ペアになり、外国の人に紹介したい日本の作品を、情報を付け加えて伝え合う。 • 話したことをもとに、紹介したい日本の作品について書く。	○Listen の質問への回答の様子から、作品の具体的な情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、過去分詞による後置修飾などを用いて、外国の人に紹介したい日本の作品を、詳しい情報を付け加えて話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、作品について作品名の後ろから加わる説明に注意を促すなど、Goal の「おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉える」活動につながる指導を行う。** **★話す活動の際、作品の詳しい情報（事実）だけでなく、自分なりのおすすめのポイントを付け足すよう促すなど、Goal の「おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合う」活動につながる指導を行う。**
6	Part 3 本文 (p. 76)	• Tell us **why you're leaving**. • Do you know **when you're leaving**?	**本文の内容を捉え、文脈の中で間接疑問文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、間接疑問文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、間接疑問文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 77)		**目的や場面に沿って間接疑問文を使う練習をする。** • 登場人物の日本で見ておきたいものについての会話から、Tina が知らなかった情報を聞き取る。 • ペアになり、源氏物語についての情報を知っているかどうかをたずね合う。 • 源氏物語についての情報を、友達が知っていたかどうかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が知らなかった日本の文化の情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、間接疑問文などを用いて、源氏物語についての情報を知っているかどうかを話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 78)		**おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉える。** • 登場人物の会話から、それぞれが Tina に紹介している作品や、おすすめのポイント、Tina が質問したことを聞き取る。 • Q&A などを通して、会話の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★聞く活動の際、紙面上の TIP に注目するよう促す。**
9	Goal (p. 79)		**おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合う。** • 自分が友達に紹介したい作品を考え、具体的な情報をメモに書き出す。 • ペアになり、おすすめの作品やそのおすすめポイントなど伝え合い、たずね合う。 • 伝え方やたずね方を見直し、おすすめのポイントを伝えたり聞き出せるように、もう一度紹介し合う。 • 学習状況に応じて、Extra の伝え合った内容をもとに、自分が好きな作品の紹介文を書く活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「作品のおすすめのポイントを伝えられているか」、「おすすめの理由を詳しく聞き出す質問ができているか」の観点で、やり取りの内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 2	後置修飾	教科書ページ	pp. 80-81
		配当時間	2 時間
		学習時期	12 月
題材	名詞の後ろに説明を追加する言い方		
単元目標	後置修飾の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準(例)	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉後置修飾を使った文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉後置修飾を使った文を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 80-81	後置修飾 【復習】	**前置詞、不定詞、動詞の-ing 形、過去分詞を使った後置修飾の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 5、6 のストーリーをもとに、動詞の-ing 形、過去分詞を使った後置修飾／文を使った後置修飾の使用場面や意味を確かめる。 • 前置詞、不定詞、動詞の-ing 形、過去分詞を使った後置修飾の文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • やり取りなどの活動を通して、前置詞、不定詞、動詞の-ing 形、過去分詞を使った後置修飾を使う練習をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、前置詞、不定詞、動詞の-ing 形、過去分詞を使った後置修飾の使用場面と意味を理解することができているかを見取る。	
2			**接触節や関係代名詞を使った後置修飾の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 4、5 のストーリーをもとに、接触節や関係代名詞を使った後置修飾の使用場面や意味を確かめる。 • 接触節や関係代名詞を使った後置修飾の文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • やり取りなどの活動を通して、接触節や関係代名詞を使った後置修飾を使う練習をする。 • 日本語と英語を比べて、名詞に説明を加えるときの違いを考える。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、接触節／関係代名詞を使った後置修飾の文の意味を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で後置修飾の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

You Can Do It! 2	**持続可能な社会に向けリポートしよう**	教科書ページ	pp. 82-83
		配当時間	2 時間
		学習時期	12 月
題材	持続可能な社会		
単元目標 【重点化領域】	◎情報をもとに考えを整理して伝えることができる。【読むこと（R-3）】【書くこと（W-3）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、持続可能な社会に向けた取り組みについての報告の内容を読み取ったり、自分が身の回りで取り組める活動を報告に書いたりする技能を身につけている。		◎			◎
思考・判断・表現	世界の 10 代の若者による持続可能な社会に向けた取り組みについて知るために、2 つの報告を読んで、要点を捉えている。		◎			
	世界の 10 代の若者に自分たちの取り組みをリポートするために、問題意識とその解決のための取り組みなど伝えたい情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	世界の 10 代の若者による持続可能な社会に向けた取り組みについて知るために、2 つの報告を読んで、要点を捉えようとしている。		◎			
	世界の 10 代の若者に自分たちの取り組みをリポートするために、問題意識とその解決のための取り組みなど伝えたい情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書こうとしいている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 82-83		**10 代の若者たちの持続可能な社会の実現に向けた取り組みについての投稿を読み、要点を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 世界の 10 代の若者たちによる取り組みについての 2 つの投稿を読み、それぞれがいちばん伝えたいと思う部分に線を引く。また、投稿内の説明に当てはまるグラフを選び、2 つの投稿のそれぞれの取り組みが SDGs の中のどの目標と関係しているかを考える。 • 2 つの投稿の内容を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p. 83		**持続可能な社会に向け、身の回りで取り組める活動をリポートする。** • 関心のある SDGs の目標について、どのように行動したいかを考え、それを伝える投稿文を書くためのメモを書く。 • 世界の若者たちに、自分の問題意識と解決のための取り組みが伝わるように、伝えたい情報を整理して投稿を書く。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Writing モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

World Tour 2	**If the World Were a Village of 100 People**	教科書ページ	p. 84
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	12 月
題材	世界がもし 100 人の村だったら		
単元目標	世界の現状について紹介する音声を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、世界の現状についての音声や動画の内容を聞き取る技能を身につけている。	○				
思考・判断・表現	世界の現状について知るために、音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えている。	○				
主体的に学習に取り組む態度	世界の現状について知るために、音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 84		**世界の現状を紹介している音声を聞いて、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 世界の現状を「100 人の村」にたとえて紹介する音声から、世界地図中の空欄に入る数字を聞き取る。 • 動画を見て答えを確認し、気になったことや、気づいたことをメモに取る。 • 全体で答えや音声の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • 学習状況に応じて、Extra の思ったことや感じたことを、周りの人と話し合う活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○ワークシート等から、世界の現状の紹介についておおまかな内容を捉えているかを見取る。	

Unit 7	Tina's Speech	教科書ページ	pp. 85-91
		配当時間	7 時間
		学習時期	1 月
題材	思い出のスピーチ		
単元目標 【重点化領域】	◎スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉えることができる。【聞くこと（L-3）】 ◎伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをすることができる。【話すこと（SP-2）】		
基本文	Part 1　**If** you **were** in my place, you **would** feel the same. **If** I **could** speak to that worried girl, I **would** say, "Don't worry." Part 2　**I wish** I **could** stay here with all of you.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉If I could ～.や I wish I could ～.の仮定法の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	○	◎	○
	〈技能〉If I could ～.や I wish I could ～.の仮定法の文などについての理解をもとに、中学校 3 年間の思い出について、スピーチの内容を聞き取ったり話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物の思い出に残っていることを知るために、スピーチを聞いて、内容の要点を捉えている。	◎				
	中学校 3 年間の思い出を振り返り、クラスメイトと分かち合うために、伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしている。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	登場人物の思い出に残っていることを知るために、スピーチを聞いて、内容の要点を捉えようとしている。	◎				
	中学校 3 年間の思い出を振り返り、クラスメイトと分かち合うために、伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 85)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 86)	• **If** you **were** in my place, you **would** feel the same. • **If** I **could** speak to that worried girl, I **would** say, "Don't worry."	**本文の内容を捉え、文脈の中で If I could ～. の仮定法の文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、If I could ～. の仮定法の文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、If I could ～. の仮定法の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 87)		**目的や場面に沿って If I could ～. の仮定法の文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、タイムマシンがあったら、何をしてみたいかを聞き取る。 • ペアになり、提示された「もし～だったら」という状況で、どうするかをたずね合う。 • 伝え合ったことをもとに、提示された「もし～だったら」という状況で、自分ならどうするかを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が「もしもタイムマシンがあったら、何をしてみたいか」を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、If I could ～. の仮定法の文などを用いて、提示された「もし～だったら」という状況で、自分ならどうするかを話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 88)	• **I wish** I **could** stay here with all of you.	**本文の内容を捉え、文脈の中で I wish I could ～. の仮定法の文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、I wish I could ～. の仮定法の文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、I wish I could ～. の仮定法の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの要点（Tina がもっとも伝えたいこと）を考えながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉える」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 89)		**目的や場面に沿って I wish I could ～. の仮定法の文を使う練習をする。** • アルバムのための写真を集めている場面での登場人物の会話から、それぞれが選んだ写真や願望を聞き取る。 • ペアになり、「～だったらいいのに」と思うことを理由も含めて伝え合う。 • 話したことをもとに、「～だったらいいのに」と思うこととその理由を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がそれぞれ選んだ写真やそれぞれの願望を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、I wish I could ～. の仮定法の文などを用いて、「～だったらいいのに」と思うことを理由も含めて話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、思いが伝わるように理由を付け加えて願望を伝え合うよう促すなど、Goal の「伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをする」活動につながる指導を行う。**
6	Goal (p. 90)		**スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉える。** • 登場人物 3 名のスピーチを聞き、スピーチの話題とそれぞれがいちばん伝えたかったことを選ぶ。 • Q&A などを通して、スピーチの詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	
7	Goal (p. 91)		**伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをする。** • 中学校 3 年間でいちばんの思い出についてのアイデアを書き出した後、伝えたい情報を整理する。 • スピーチの練習をして、伝える内容や組み立てを見直す。 • 改めてスピーチを聞き合い、質問をしたり感想を伝え合ったりする。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「友達が聞きたくなるような、話の内容や組み立てになっているか」、「聞き手に思いが伝わるように、話し方や表情を工夫しているか」の観点で、発表の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Let's Read 3	**Changing the World**	教科書ページ	pp. 92-95
		配当時間	4 時間
		学習時期	1（〜2）月
題材	伝説のスピーチ		
単元目標 【重点化領域】	◎スピーチ原稿を読んで要点を捉え、それに対する自分の考えを伝え合うことができる。【読むこと（R-3)】【話すこと（SI-3)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉「want＋人＋不定詞」、「疑問詞＋to＋動詞の原形」、間接疑問文、If .... の仮定法などの意味や働きを理解している。	○	◎	◎		
	〈技能〉「want＋人＋不定詞」、「疑問詞＋to＋動詞の原形」、間接疑問文、If .... の仮定法などの意味や働きの理解をもとに、「伝説のスピーチ」の原稿の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	「伝説のスピーチ」でセヴァンさんが聴衆に訴えかけたことを知るために、スピーチ原稿を読んで、要点を捉えている。		◎			
	「伝説のスピーチ」の内容や世界が抱える課題についての考えを深めるために、伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのスピーチについて考えたことを伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	「伝説のスピーチ」でセヴァンさんが聴衆に訴えかけたことを知るために、スピーチ原稿を読んで、要点を捉えようとしている。		◎			
	「伝説のスピーチ」の内容や世界が抱える課題についての考えを深めるために、伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのスピーチについて考えたことを伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 92-95		**タイトルやキーワードをもとに、スピーチ原稿の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • タイトルや示されたキーワードをもとに、世界を変えるためにセヴァンさんが聴衆に何をしてほしいと訴えたかを予想する（Before You Read)。 **スピーチ原稿全体を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。** • 本文全体を通して聞き、スピーチの内容をイメージする。 • 本文全体を通して読み、概要や構成を捉える。 • p. 92 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、スピーチの話題を読み取る。 • p. 92 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Before You Read への回答の様子から、セヴァンさんが聴衆に訴えたかったことをどのように予想しているかを見取る。 ○生徒の発話などから、スピーチ原稿のおおまかな内容を捉えているかを見取る。	
2	p. 93		**環境破壊を止めねばならないというセヴァンさんの主張を読み取る。** • p. 93 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、環境破壊を止めねばならないというセヴァンさんの主張を読み取る。 • p. 93 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、スピーチ原稿のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
3	pp. 94-95		**人類は 1 つの家族であり分かち合うことが大切であることや、大人の言行不一致を非難し、行動を起こすよう訴えているセヴァンさんの主張を読み取る。** • pp. 94-95 内 10 行目の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、本文の話題を読み取る。 • pp. 94-95 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○While You Read などへの回答（ワークシート等）の様子から、スピーチ原稿のおおまかな内容や詳細をどのように読み取っているかを見取る。	
4	p. 95		**スピーチ原稿の要点をまとめる。** • セヴァンさんがいちばん伝えたかったことを、伝える一文の＿＿に入る語句を書く（After You Read, Read)。 **セヴァンさんのスピーチについて考えたことを話し合う。** • 話題を選択肢 2 つから選び、スピーチについて考えたことを話し合う（After You Read, Speak)。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」「話すこと（やり取り)」におけるそれぞれ 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★TIP（p. 95)、巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 135（[英語をよりよく使うための TIPS] 〖聞いたり読んだりするときのコツ〗5. 要点を捉える聞き方［読み方］）も参考にしながら、要点を捉える読み方を確認する。**

Active Grammar 3	仮定法	教科書ページ	p. 96
		配当時間	1 時間
		学習時期	2 月
題材	現実とは違う仮定の話をする言い方		
単元目標	仮定法の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉仮定法の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉仮定法を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 96	仮定法 【復習】	**仮定法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 7 のストーリーをもとに、仮定法を使った文の使用場面や意味を確かめる。 • 仮定法の文の形を整理する。また、If や I wish に続く文の中の動詞や助動詞は過去形を使い、主語に関係なく be 動詞は were を使うことなどを確かめる。 • If に続く文の中の動詞を現在形で使った場合と過去形で使った場合の内容の違いを比較する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • やり取りなどの活動を通して、仮定法を使う練習をする。 • Speak（About You）の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、仮定法の文の使用場面と意味を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で仮定法の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Unit 8	Goodbye, Tina	教科書ページ	pp. 97-103
		配当時間	7 時間
		学習時期	2（〜3）月
題材	別れと旅立ち		
単元目標 【重点化領域】	◎手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取ることができる。【読むこと（R-2)】 ◎表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。【書くこと（W-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、大切な人に宛てた手紙の内容を読み取ったり、大切な人に気持ちを伝える手紙を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	自分が手紙を書くときの参考にするために、登場人物が大切な人に宛てて書いた手紙を読み、書き手が伝えたい気持ちを読み取っている。		◎			
	大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	自分が手紙を書くときの参考にするために、登場人物が大切な人に宛てて書いた手紙を読み、書き手が伝えたい気持ちを読み取ろうとしている。		◎			
	大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (p. 97)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を聞き取っているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 98)		**p. 98 の本文の内容を捉える。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 本文 (p. 99)		**p. 99 の本文の内容を捉える。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 手紙で使う語句や表現を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、Kota の気持ちが伝わる文に線を引かせたり、手紙の書き方を確認したりするなど、Goal の「表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書く」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 100)		**p. 100 の本文の内容を捉える。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
5	Part 2 本文 (p. 101)		**p. 101 の歌詞の内容を捉える。** • Q&A などを通して、歌詞の詳細を確かめる。 • 実態に応じて、自分たちの 3 年間を思い出しながら Here We Go!を歌う。	○生徒の発話などから、歌詞の内容を読み取っているかを見取る。 ○Here We Go!を英語らしい発音やリズムで音読して歌っているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Goal (p. 102)		**手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 3 人の登場人物が書いた手紙を読み、書き手の気持ちがよく伝わると思う箇所に下線を引く。 • Q&A などを通して、手紙の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
7	Goal (p. 103)		**表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書く。** • 手紙で気持ちを伝えたい相手や、伝えたいこと、どんな言葉で伝えたいかなどを考える。 • 伝えたいことを整理して手紙の下書きをして、内容や表現を見直す。 • 書き直した手紙を読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「大切な人に気持ちが伝わる内容や表現になっているか」の観点で、手紙の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

You Can Do It! 3	自分たちのこれからに言葉を贈ろう	教科書ページ	pp.104-105
		配当時間	2 時間
		学習時期	3 月
題材	人を動かす言葉		
単元目標 【重点化領域】	◎大切な人や自分に宛てて気持ちを表現することができる。【読むこと（R-3)】【書くこと（W-1)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、「人を動かす言葉」の内容を読み取ったり、贈る言葉を書いたりする技能を身につけている。		◎			◎
思考・判断・表現	言葉がもつ「人を動かす力」について知るために、紹介された言葉を読み、そこに込められた思いを捉えている。		◎			
	友達やこれからの自分を応援するために、内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ「人を動かす力」について知るために、紹介された言葉を読み、そこに込められた思いを捉えようとしている。		◎			
	友達やこれからの自分を応援するために、内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 104-105		**それぞれの言葉に込められた思いを読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • ５人の言葉を読んで、それぞれの言葉に込められた思いを表す語句としてふさわしいものを選ぶ。 • それぞれの言葉が表す意味を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p. 105		**友達や自分のこれからに向けて贈る言葉を書く。** • 1 つの単語からイメージを広げながら、伝えたい内容を整理する。 • 教科書や辞書を活用しながら、表現を工夫して、贈る言葉を書く。 • クラスで回覧し、それぞれの作品に感想やコメントを書く。 • 学習状況に応じて、クラス全員の作品を撮影して 1 本の動画にする。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Writing モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

Let's Read More 1	Elections in Norway	教科書ページ	pp. 106-107
		配当時間	（2 時間）
		学習時期	3 月
題材	選挙		
単元目標	記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、選挙についての記事の内容を読み取る技能を身につけている。		○			
思考・判断・表現	日本とノルウェーの選挙の様子の違いを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	日本とノルウェーの選挙の様子の違いを知るために、ノルウェーの選挙を紹介する記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 106-107		**記事全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。** • 写真やそのキャプションを参考に、ノルウェーと日本の選挙の様子の違いを考えながら本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **選挙期間中のオスロの様子を読み取る。** • 第 1 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、選挙期間中のオスロの様子を読み取る。 • 第 1 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A などへの回答（ワークシート等）から、記事のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
2	pp. 106-107		**ノルウェーの子供たちと選挙や政治との関わりについて読み取る。** • 第 2 ～ 6 段落について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、ノルウェーの子どもたちと選挙や政治との関わりを読み取る。 • 第 2 ～ 6 段落の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **設問の答えを確かめ、政治家にききたいことについて話し合う。** • After You Read 1.の設問の答えを確かめる。 • After You Read 2.の政治家にききたいことについて話し合う活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○Q&A や After You Read などへの回答（ワークシート等）から、記事のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	

Let's Read More 2	Fight for Equality	教科書ページ	pp. 108-110
		配当時間	（3 時間）
		学習時期	3 月
題材	公民権運動		
単元目標	伝記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、人種差別に立ち向かった少女の伝記の内容を読み取る技能を身につけている。		○			
思考・判断・表現	人種差別に立ち向かった少女について知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	人種差別に立ち向かった少女について知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 108-110		**伝記全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。** • タイトル、リード文、写真や挿絵などを参考に、本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **20 世紀中頃のアメリカ南部での黒人への差別や隔離について読み取る。** • p. 108 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、20 世紀中頃のアメリカ南部での黒人への差別や隔離について読み取る。 • p. 108 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A や While You Read などへの回答（ワークシート等）から、伝記のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
2	pp. 109-110		**1955 年 3 月 2 日の、バスの中でのコルビンの行動について読み取る。** • p. 109 から p. 110 の 2 行目までの本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、バスの中でのコルビンの行動について読み取る。 • p. 109 から p. 110 の 2 行目までの本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A や While You Read などへの回答（ワークシート等）から、伝記のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
3	p. 110		**逮捕されたコルビンの様子とその後について読み取る。** • p. 110 の 3 行目から最後までの本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、逮捕されたコルビンの様子とその後について読み取る。 • p. 110 の 3 行目から最後までの本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **読んだことについて、感想や考えを伝え合う。** • 驚いたことや印象的だったことに線を引く（After You Read 1.）。 • 自分がクローデット・コルビンさんの立場だったらどうするかを話し合う（After You Read 2.）。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○Q&A や After You Read などへの回答（ワークシート等）から、伝記のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	

Let's Read More 3	A story from The Adventures of Tom Sawyer	教科書ページ	pp. 111-113
		配当時間	（3 時間）
		学習時期	3 月
題材	『トム・ソーヤーの冒険』		
単元目標	物語の一部を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、物語の内容を読み取る技能を身につけている。		○			
思考・判断・表現	150 年ほど前の話が現代の私たちにも通じるかを確かめるために、『トム・ソーヤーの冒険』の一部を読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	150 年ほど前の話が現代の私たちにも通じるかを確かめるために、『トム・ソーヤーの冒険』の一部を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 111-113		**物語全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。** • タイトルや挿絵などを参考に、本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **ある土曜日の朝のトムの状況を読み取る。** • p. 111 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、ある土曜日の朝のトムの状況を読み取る。 • p. 111 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A や While You Read などへの回答（ワークシート等）から、物語のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
2	p. 112		**ベンの登場からトムの塀塗りを見て気持ちが変わっていくまでの様子を読み取る。** • p. 112 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、ベンの登場からトムの塀塗りを見て気持ちが変わっていくまでの様子を読み取る。 • p. 112 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q&A や While You Read などへの回答（ワークシート等）から、物語のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
3	p. 113		**物語の最後の部分を読み取る。** • p. 113 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめ、物語の最後の部分を読み取る。 • p. 113 の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **読み取ったことについて、自分の経験をもとに考えを伝え合う。** • 「Tom が発見した人間行動の一大法則」がどんなことかを自分の言葉でまとめた後、自分の経験をもとにそれについてどう思うかを伝え合う（After You Read）。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○Q&A や After You Read などへの回答（ワークシート等）から、物語のおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	

Story Retelling		教科書ページ	pp. 114-120
		配当時間	帯活動の時間
		学習時期	通年
題材	ストーリー		
単元目標 【重点化領域】	◎ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話すことができる。 【話すこと（SP-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ストーリーの登場人物や出来事について話す技能を身につけている。				◎	
思考・判断・表現	ストーリーの内容を伝えるために、情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	ストーリーの内容を伝えるために、情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域（帯教材を学期末のパフォーマンステスト等に活用する場合）

〈帯活動の時間を 10 分程度割り当てて、Unit 1 のストーリーをリテリングする場合の例〉

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
帯	pp. 114-120		**ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話す。** • 活動の目標と自己目標を確かめる。 • Unit 1 のストーリーの音声を聞くなどして、内容を思い出す。 • p. 114 の絵を見ながら、リテリングのしかたを考える。（1 分間） • ペアになり、ストーリーの内容を相手に説明する。 • 振り返りの時間の後、もういちどリテリングに取り組む。 • 学習状況に応じて、話したことをノートに書く。（3 分間）	**◎話している様子から、ストーリーの内容を理解し、伝えたい情報を整理して、相手に伝わる表現・語句を用いて説明しているかを見取る。**	**★リテリングの仕方がわからない生徒には、二次元コードからモデル動画を参照するよう促し、話す内容や話し方のイメージを持たせる。** **★説明しづらそうな場面については、これまでに学習した本文などから使える表現を探すよう促す。**

Let's Talk!		教科書ページ	とじ込み pp. ①-⑧
		配当時間	帯活動の時間
		学習時期	通年
題材	自分や相手のこと		
単元目標 【重点化領域】	◎自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。【話すこと（SI-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。			◎		
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことや興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。					
思考・判断・表現	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域（帯教材を学期末のパフォーマンステスト等に活用する場合）

〈帯活動の時間を 5〜10 分程度割り当てて、1 分間自由にやり取りする場合の例〉

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
帯	とじ込み pp. ①-⑧		**自分や相手のことについて、その場でやり取りする。** • 活動の目標や自己目標、活動の目的を確かめる。 • その時間に扱うテーマや話題を指定し、教師が Small Talk を行う。 • ペアになり、生徒同士がやり取りをする。 • 振り返りの時間の後、もう一度やり取りに取り組む。 • 学習状況に応じて、やり取りしたことをノートに書く。（3 分間）	**◎やり取りの様子から、相手に伝わる表現・語句を用いて、自分のことを伝えたり質問したりしているかを見取る。**	**★実態に応じて、やり取りの前に、1 人で話す（発表形式で話す）。** **★帯教材「Let's Talk!」の「ステップアップのしかた」（とじ込み⑧）に応じた段階を設けて、トピックについて話すことに慣れさせる。** **★やり取りの仕方がわからない生徒には、二次元コードからモデル動画を参照するよう促し、話す内容ややり取りの続け方を確かめさせる。**